

平成30年度事業計画

1 基本方針

平成29年度に創設された保育士養成研究所が事業を開始し、本会の研修、研究、情報、認定・評価等に関する中核的役割を担う体制が整備強化された。本年度も引き続き短期的、中期的展望に基づき、事業を有効に展開していくこととしたい。とくに、2年目を迎える保育士養成校に関するルーティン調査の実施とその活用、並びに施設実習担当職員及び実習指導担当教員の認定・評価システムの検討とその実施に向け、さらに努力してまいりたい。

また、全国保育士養成セミナーをはじめ、ブロックにおける活動、各会員校の活動が、一層の保育士養成の質の向上、会員校の充実強化に資する内容となるよう努めてまいりたい。

さらに、保育士試験の実施に関する事業量が年々増大する中で、試験の実施に対するニーズに適切に対応していくこととする。

2 総会の開催

(1) 日 時 平成30年6月9日(土) 13時00分～16時00分

(2) 場 所 東京ビッグサイト 6階会議室

(3) 次 第

①講 演

- ・厚生労働省子ども家庭局 保育課(予定)

②審議事項

- ・平成29年度計算書類の承認について
- ・理事及び監事の選任について

③情報交換会

3 理事会の開催

第1回常任理事会	平成30年 5月21日(月)14:00～15:15	保養協・会議室
第1回理事会	平成30年 5月21日(月)15:30～17:00	保養協・会議室
第2回理事会	平成30年 6月 9日(土)16:00～16:30	東京ビッグサイト
第2回常任理事会	平成30年12月17日(月)14:00～15:15	保養協・会議室
第3回理事会	平成30年12月17日(月)15:30～17:00	保養協・会議室
第3回常任理事会	平成31年 3月18日(月)14:00～15:15	保養協・会議室
第4回理事会	平成31年 3月18日(月)15:30～17:00	保養協・会議室

4 保育士養成制度及び教育内容の調査、研究に関する事業

(1) 新たな協同研究の推進

- ・自主的研究又は、国庫補助等を通じて調査研究を行う。

(2) ブロック研究

- ・各ブロックにおいて2校以上の会員校の教職員による共同研究活動を行う。
- ・ブロック研究助成金は、1ブロック30万円を限度とすること。

(3) 学術研究助成

- ・複数の会員校教職員で構成される研究組織による共同研究を対象に研究助成を行う。
- ・助成件数は2件程度とし、助成金額は総額400万円以内、1件あたり200万円以内とする。

5 保育士養成研究所事業

(1) 保育士養成教育及び保育にかかわる課題等についての研究

(2) 保育士養成校教員及び保育士等を対象とした保育士養成及び保育制度に関する研修会

- | | | |
|---------|----------------|--------|
| ①第1回研修会 | 平成30年 6月24日(日) | 開催地 東京 |
| ②第2回研修会 | 平成30年11月18日(日) | 開催地 大阪 |
| ③第3回研修会 | 平成31年 2月24日(日) | 開催地 東京 |

(3) 保育士養成教育及び保育にかかわる情報提供

(4) 養成校に対するアンケート調査

(5) その他の事業

6 全国保育士養成セミナー

(1) 平成30年度全国保育士養成セミナー

- ①主 催 一般社団法人全国保育士養成協議会
- ②後 援 (予定) 厚生労働省、岐阜県、岐阜市、社会福祉法人全国社会福祉協議会
社会福祉法人日本保育協会、公益社団法人全国私立保育園連盟
- ③運営組織委員長：山崎 美貴子 (全国保育士養成協議会 会長)
- 大 会 長：藤井 德行 (岐阜^{しょうとく}聖徳学園大学 学長)
- 実 行 委 員 長：田中 亨胤 (岐阜聖徳学園大学 教授)

④担 当：中部ブロック

⑤担当校：岐阜聖徳学園大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部

⑥期 日：平成30年9月14日(金)、15日(土)

⑦会 場：長良川国際会議場、岐阜都ホテル

〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光2695-2

⑧主 題：保育新時代における保育者養成

— 子どもと保育者、共に豊かな時を生きるために —

⑨プログラム

【9月14日(金)】(13:00~18:00)

ア 講 演：〔行政説明〕厚生労働省子ども家庭局 保育課(予定)

演 題：保育行政の動向と課題(仮題)

イ 基調講演：五十嵐 隆 氏

(国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事長、東京大学名誉教授)

演 題：「保育保健面でこれからの保育士に期待すること」

ウ 特別講演：松沢 哲郎 氏

(京都大学高等研究院・特別教授、京都大学霊長類研究所・兼任教授、理学博士)

演 題：「想像するちからーチンパンジーが教えてくれた人間の心ー」

エ 中央研究報告(保育士養成研究所研究担当副所長)

オ 中央情勢報告(全国保育士養成協議会常務理事)

カ 情報交換会(18:15~20:00)

会 場：長良川国際会議場、岐阜都ホテル

【9月15日(土)】

キ シンポジウム(9:00~12:00)

テーマ：保育新時代における保育者養成

シンポジスト：小川 清美 氏

(東京都市大学名誉教授、保育士養成課程等検討会副座長)

シンポジスト：津金 美智子 氏

(名古屋学芸大学教授、保育士養成課程等検討会構成員)

シンポジスト：山縣 文治 氏

(関西大学教授、保育士養成課程等検討会構成員)

指定討論者：汐見 稔幸 氏

(白梅学園大学学長)

指定討論者：上村 初美 氏

(全国保育士会会長)

司 会：浅野 俊和 氏 (中部学院大学教授；企画副委員長)

会 場：長良川国際会議場

ク 分科会 14分科会(13:30~17:30)

- ・保育者養成校の今日的課題(3分科会)
- ・保育者養成カリキュラムの工夫と展開(4分科会)
- ・保育新時代の保育実習の展望と課題(3分科会)
- ・保育者養成における学生支援を考える(3分科会)
- ・保育新時代の保育者養成校教員の責務を考える(1分科会)

会 場：長良川国際会議場、岐阜都ホテル

(2) 平成30年度全国保育士養成協議会研究報告会(仮称)

①日 時：平成30年9月16日(日)

②担 当：中部ブロック

③担当校：岐阜聖徳学園大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部

④会 場：長良川国際会議場

⑤プログラム

ケ ブロック助成研究報告 (9:00~10:20)

コ 学術研究助成の成果報告 (10:30~12:00)

(3) 中部ブロック企画(独自企画)

①日 時：平成30年9月16日(日)

②担 当：中部ブロック

③担当校：岐阜聖徳学園大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部

④会 場：長良川国際会議場

⑤プログラム

サ 養成校教育実践のワークショップ（10：00～12：00）

7 広報、出版に関する事業

- (1)「会報 保育士養成」の発行
- (2)「保育士養成セミナー報告書」の発行
- (3)「保育士養成研究所報告書」の発行

8 保育士養成の振興に関する諸活動

(1) 表彰

- ①会長表彰（会員校を平成30年度に卒業する学生を対象とする。）
- ②会員校教職員表彰（会員校の教職員を対象とする。）
- ③功労者表彰（本会の役員を対象とする。）

(2) ブロック会議

各ブロックにおいて、ブロック会議の開催を予定する。

9 保育士試験の実施に関する事務

平成30年の保育士試験は、平成29年と同様に47都道府県において年2回の実施を予定している。

なお、大阪府の2回目の試験は、実技試験を行う通常試験と実技試験に振り替えて実技講習会を行う国家戦略特別区域限定保育士試験（以下「地域限定試験」という。）を同時に実施する案を大阪府において検討中である。

この場合地域限定試験については、実技講習会の実施事務を除く地域限定試験に関連する事務を行うものとする。

平成30年の保育士試験（以下、地域限定試験を含む。）は、次により実施する。

(1) 保育士試験事務について（全部受託）

「保育士試験事務規程」及び「国家戦略特別区域限定保育士試験事務規程」に則り、次の試験事務を行うものとする。

- ①試験実施日時、場所その他必要な事項の広報等
- ②試験に対する受験者等からの問い合わせ対応等
- ③受験資格の確認
- ④受験申請書の受付、確認、受験票の送付等
- ⑤試験問題の作成・保管・管理
- ⑥試験の実施
- ⑦答案の採点
- ⑧合否の決定
- ⑨合否の通知

- ⑩受験の停止及び合格の無効の決定
- ⑪その他試験実施に関する必要な事務
- (2) 保育士試験委員会の開催について
必要に応じて次に掲げる会議を開催するものとする。
 - ①筆記試験関係
 - ア 筆記試験問題作成会議
 - イ 筆記試験問題選定会議
 - ウ 筆記試験問題決定会議
 - エ 筆記試験結果判定会議
 - ②実技試験関係
 - ア 実技試験課題作成会議
 - イ 実技試験課題選定会議
 - ウ 実技試験課題決定会議
 - エ 実技試験結果判定会議
- (3) 神奈川県が独自に実施する地域限定試験において通常試験に関連する事務の実施
- (4) 平成31年保育士試験事務に向けての準備

10 その他の事業

- (1) 専門学校幼免対策特別委員会の活動
- (2) 本会の目的を達成するため必要な事業の実施及び会議への参加